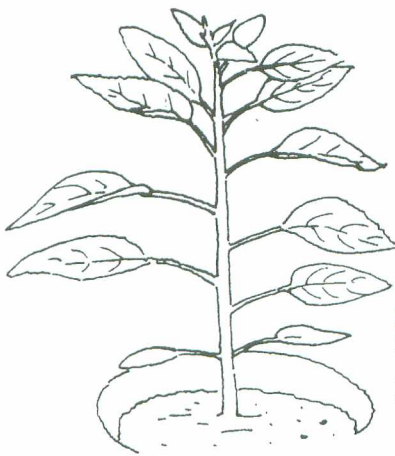


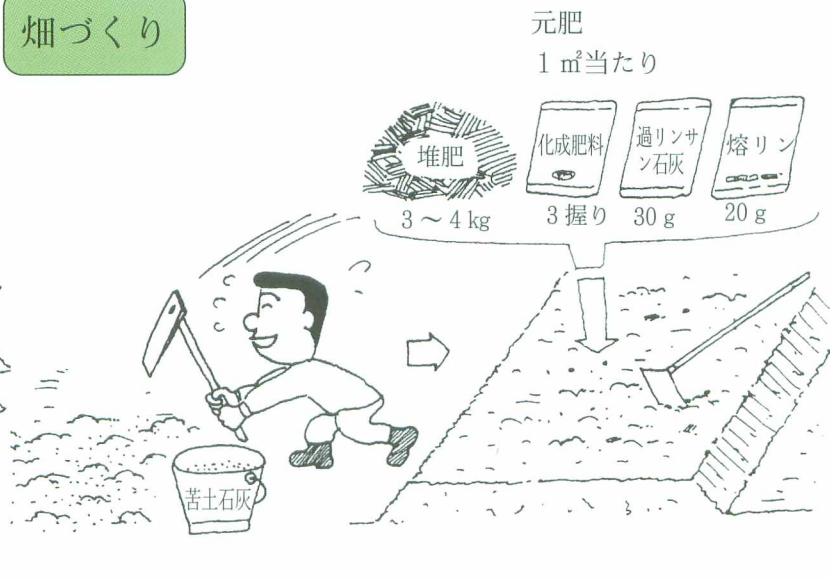
ピーマン

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地栽培					◎↔◎	—————						

苗の入手



畑づくり



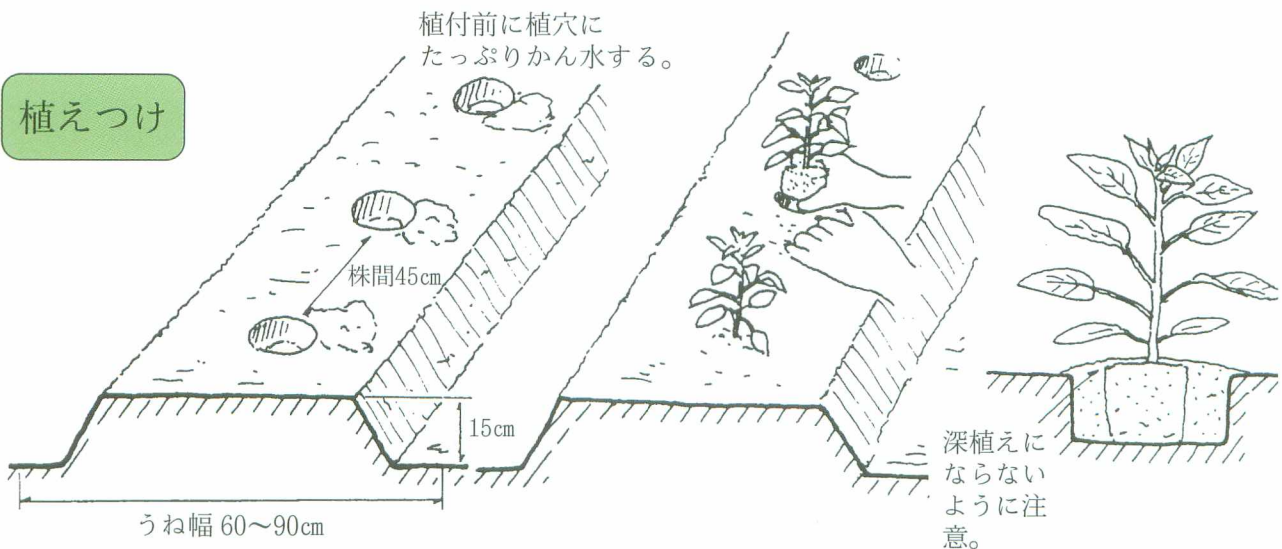
元肥
1㎡当たり

- 堆肥 3~4 kg
- 化成肥料 3握り
- 過リンサン石灰 30 g
- 熔リン 20 g

本葉が10~12枚、1番花が開花する直前の苗で、全体ががっちりしていて、茎が太くいきいきしているものを購入します。

植えつける2週間前に苦土石灰を全面に散布して、深く耕しておきます。
植えつけの1週間前に元肥として、堆肥と化学肥料を全面に施し、深く耕しておきます。

植えつけ



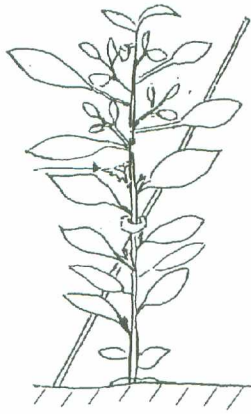
気温が低いと初期の生育が悪く、実も止まらないので、朝の最低気温が17℃以上になってから定植します。

風が強くない暖かい日に、深植えにならないように丁寧に植えつけます。

支柱立てと整枝

ピーマンは、根張りが浅く倒れやすいので、植え終わったら支柱を立てて、紐で緩くゆわえておきます。

仮支柱
長さ 70~80cm
の支柱で、本
支柱を立てる
まで固定する。

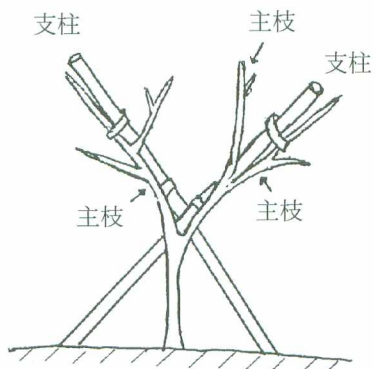
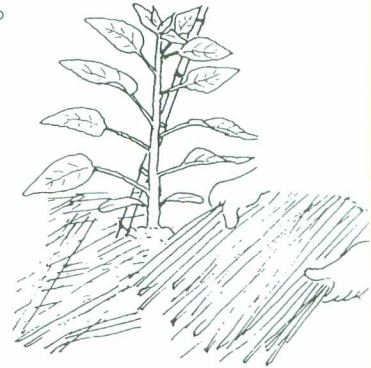


1 番花が着いてくると、そこから太い分枝が2本出てきます。これらはさらに2本ずつ分かれるのでこのうち3~4本を主枝にします。

一番花の下の腋芽(わき芽)はすべて摘除する。

敷きワラ

夏場になり気温が上がってきたら、気温と乾燥から守るため、敷きワラか黒色のポリフィルムを敷きます。



2本の支柱を交差させてしっかりと固定し、これに3本の主枝を結わえる。

かん水

土が乾かないように注意して、乾けば朝か夕方十分に鹹水しておきます。



収穫

適当な大きさになったら収穫しますが、若どりしたほうが株が疲れません。



追肥

定植1ヶ月ぐらいから、月1回程度の割で追肥を施します。

5~6株に化学肥料を1握りほど施す。



コメント(栽培)

百科絵で見る家庭菜園 青木 茂之 ひかりのくに株式会社より

“良苗半作”といわれるように、苗選びがポイントになります。あせって早植えせずに5月中旬ごろまで待って、大きくなった苗を購入しましょう。